

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		歯科保健連絡会議運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名 前田 友里
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線) 2169
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	健康増進法	成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6
	1	4	1	6	11228			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 10 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって歯の健康を維持していくことにより健康な日常生活を過ごすことを目的に、各機関が連絡調整・研修等を行い、市の歯科保健事業を円滑に遂行していくため連携を図る。年1回程度開催。 委員構成: 合志市歯科医師(代表歯科医師5名、歯科衛生士会(代表歯科衛生士1名)、学校養護部会(代表養護教諭1名)、菊池保健所、学校教育課・平成10年度～開始(昭和62年、旧合志町にて、地域全体のデンタルIQを高めることを目指し、知識統一のため、保健師や養護教諭、歯科医師で勉強会を始めた。)義務教育期間中は学校保健法が中心となるので、切れ目なくフォローしていくことを目的に、学校教育課も参加している。歯科医師より、現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのではないかとこの提案があり、H21年度から歯科衛生士を委員に追加した。
【業務の流れ】	会議日程調整→委員委嘱状交付についての起案及び会議開催についての起案→通知発送→会議資料作成→会議実施→会議録作成→報酬及び費用弁償の差し引き→欠席の歯科医師に会議録の送付
【主な予算費目】	報酬、旅費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> 歯科保健の向上を図るためにも必要なことであると菊池保健所から言われている。 平成20年度歯科保健連絡会議開催時、歯科医師より「現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのでは」との意見があり、平成21年度から歯科衛生士を委員として追加。その結果、専門的な立場から貴重な意見をいただくことができたとの声あり。 会議において、保育園や幼稚園、学校における歯みがきの励行やフッ化物の利用(洗口)を、行政が主体となり積極的にすすめてほしいという意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	会議日程調整。委員委嘱状交付について起案会議起案。通知発送。会議資料作成。会議録作成。費用弁償の差し引き。会議録の送付。H21年度から健診介助者である歯科衛生士を委員に追加。	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	各委員に通知を送付し、会議を実施する。実施後は、報酬と費用弁償の支払いを行う。また、会議録を作成し、欠席の委員に送付する。
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ ア 会議開催回数 回 イ	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	⇒ ア 歯科保健関連事務事業数 本 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市が行う歯科保健事業	⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	⇒ ア 前年度の会議での決定事項のうち今年度実行できなかった項目 件 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑化に取り組むことができる。	*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 本会議の内容を次年度に生かしていくことが重要であると考え、決定事項についてどの程度実行できたかを成果指標として設定する。(その際、評価しやすいよう「実行できなかった項目」の件数で評価することとする。) 目標値については、決定事項を全て実行に移すことができるよう務めていくことを目標とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1
	イ								
⑤ 対象指標	ア	本	4	4	4	4	4	4	4
	イ								
⑥ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	44	36	51	26	40	40
	(A) 事業費計	千円	44	36	51	26	40	40	40
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円				0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	5	5	4	5	5
延べ業務時間		時間	430	392	392	130	392	392	392
(B)人件費計		千円	1,707	1,568	1,560	517	1,560	1,560	1,560
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,751	1,604	1,611	543	1,600	1,600	1,600

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

合志市

事務事業名	歯科保健連絡会議運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市歯科保健事業をより良いものにしていくため、また、関係機関が連携を図りながらより円滑に事業を運営していくためにも、とても重要な会議である。
今後も、定期的に委員構成の見直しを図りながら、市歯科保健事業をより良いものにしていけるよう務めていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後も同様に実施。 定期的に委員構成の見直しを図りながら、市歯科保健事業をより良いものにしていけるよう務めていく。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持		○	△		低下		△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○	△																		
	維持		○	△																		
	低下		△	△																		

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

委員が一部のメンバーに偏ることがないよう委員構成にも工夫し、市の事業に様々な意見を反映していけるよう務めていく。